

2010年劇団☆新感線 30周年興行“秋”

豊年漫作チャンピオンまつり

# 鋼鉄番長



【作・演出】

いのうえひでのり

【出演】

橋本じゅん／坂井真紀 池田成志 高田聖子 栗根まこと／田辺誠一／古田新太

東京公演 2010年10月4日(月)～11月7日(日) サンシャイン劇場  
大阪公演 2010年11月16日(火)～12月5日(日) イオン化粧品 シアターBRAVA!  
福岡公演 2010年12月13日(月)～17日(金) 嘉徳劇場

〈開催告知・取材に関するお問い合わせ〉

株式会社ディップス・プラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657  
斉藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)

# ゴアイザツ

(のようなもの)

「年齢不詳の高校生のワルどもが集まる———“聖アンガー学園”。

そこは“学校”の名を借りた超極悪犯罪組織だった……。

この悪の巣窟にたった一人で乗り込んだ男———“兜<sup>かぶと</sup>剛鉄<sup>ごうてつ</sup>”

自業自得で全てを失い、そして成り行きで鋼鉄の体を手に入れた不死身の男！

スケ番、エロ教師、謎の忍者、様々なワケのわからない人物が入り乱れ、  
ズッコケるドタバタ学園アクション。

平均オーバー40 の出演者が、その衰え行く肉体にムチ打ち、小学校六年生  
レベルのギャグに、ありったけの知恵を絞って挑む！

劇団☆新感線が、この秋、総力を挙げてお贈りする 100%純<sup>ピュア</sup>バカのネタモノ  
総決算！お見逃しなく！！

劇団☆新感線 主宰 いのうえひでのり

〈開催告知・取材に関するお問い合わせ〉

株式会社ディップス・プラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657  
斉藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)

# オシラセ

## 皆様へ先にお詫び申し上げます。

「朧の森に棲む鬼」や「蛮幽鬼」など近年は重厚で物語性の高い“いのうえ歌舞伎”シリーズを数多く発表してきた劇団☆新感線。これらの作品から劇団のファンになって戴いた方々には先にお詫び申し上げます。

**申し訳ございません。**

新作「鋼鉄番長」は、これらの作品とは異なりますので、予めご了承ください。

1980年に大阪芸術大学の四回生を中心としたメンバーで旗揚げした劇団☆新感線は、  
**なんと今年結成 30 周年!!**

(ちなみに、主宰のいのうえひでのりは今年で生誕 50 周年！)

30 周年興行第一弾として、古田新太・天海祐希のダブル主演、生バンドの音楽に乗せたノリノリの“音モノ”シリーズ新感線☆RX「薔薇とサムライ～GoemonRock OverDrive」という花火を打ち上げ、大成功を収めました。

続く第二弾のタイトルは、

**2010 年劇団☆新感線 30 周年興行“秋”豊年漫作チャンピオンまつり「鋼鉄番長」**

(いつものことですが長いです!!)。

テーマは **“小六魂”(昭和)!** by いのうえひでのり

“小六魂”とは、小学生の頃、ちょっとしたいはずらを仕掛けて、キャーキャー言いながら逃げる女の子達を追いかけてまわしながら、実はドキドキしていた小学男子の子供心を忘れないこと。(らしいです)

## 時代のイメージは昭和、内容は熱血学園アクション!

要は、**3 年に一度のお笑い満載、おポンチ炸裂の通称“ネタもの”チャンピオンまつりを開催する**ということです。いい年こいた大人たちが、学生服・セーラー服を着て(着ないかもしれませんが)、全く知性を感じさせない、レベルの低——い、体力勝負のドタバタを繰広げます。

## そんな祭りのみこしを担ぐ人がここに集まりました!!

劇団員全員が**“しんどい!でもやりたい!3 年に一度のご褒美があるから劇団員を続けられるんだ!!”**というほどの公演が“ネタもの”です。橋本じゅん、古田新太をツートップに、高田聖子、栗根まことなど劇団員はほぼ全員集合します。

更にゲストは、「“ネタもの”以外に俺を出せ!」と言いながら自身が“ネタもの”に出演しないなんてことは考えたこともないであろう、新感線ほぼ劇団員**池田成志**。そしていのうえ自らが“ネタもの”的な気質を感じ取り、スカウトしたら出演を快諾してくれた(してしまった?)**田辺誠一**と**坂井真紀**。田辺は「荒神」(05)、「IZO」(08)以来 3 度目、坂井も「西遊記」(99)、「鬨腰城の七人(アカドクロ)」(04)以来 3 度目の新感線への参加となる準劇団員(?)です。

“ネタもの”とは、とことん観客へ笑いを提供しなければならない、役者としては真の技量が試される場。役者としての快感を味わうべく、苦行に立ち向かう出演陣の晴れ姿は見逃せません!

◀開催告知・取材に関するお問い合わせ▶

株式会社ディップス・プラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657  
斉藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)

## ◇旗揚げ◇

1980年11月、大阪芸術大学舞台芸術学科の四回生を中心にしたメンバー(こぐれ修、いのうえひでのり等)で、つかこうへい作品『熱海殺人事件』にて旗揚げ。劇団名は、当時のメンバーが実家に帰省する際、新幹線を使っていたというだけのいい加減な理由だった。すぐに解散するはずが、公演が好評だったため翌81年に再演することになり、さらに『いつも心に太陽を』『広島に原爆を落とす日』等ほとんどのつか作品を次々に上演し、つかこうへいのコピー劇団として人気爆発、関西学生演劇ブームの中心的存在となった。当時の劇団☆新感線在籍メンバーとして、寛利夫、渡辺いっけいらがいた。

## ◇オリジナル作品へ移行◇

84年『つかこうへいサヨナラ 3本立』と銘打ち、つか作品と決別。同年『宇宙防衛軍ヒデマロ』より、新生・新感線として活動開始。ハードロック・ヘヴィメタルにのせた独自のオリジナル作品を中心とする体制に転換する。翌85年『炎のハイパーステップ』より、いのうえとは高校時代から知り合っていた中島かずきが参加。以降、『阿修羅城の瞳』(87)、『スサノオ』(89)、『闘龍城の七人』(90)等、座付作家として劇団の代表的な作品を書き下ろしている。ちなみに“いのうえ歌舞伎”を銘打つようになったのは86年『星の忍者-THE STRANGE STAR CHILD-』から。

## ◇88年以降は東京&大阪で公演を行うように◇

88年『星の忍者一風雲乱世篇一』で初めて東京の劇場に進出。ストーリー性のある中島かずき作品と、ギャグ色の強いいのうえ作品の両輪で多くの熱狂的なファンを獲得。そのマンガ的な世界をコンサートばりの照明・音響を駆使して彩るド派手な舞台は小劇場界では他に類がなく、演劇という枠を越えて広く話題を集める。役者陣も古田新太を始め、橋本じゅん、栗根まこと、高田聖子、羽野晶紀等、現在の強力なラインナップが集まった。

## ◇99年『西遊記～PSY U CHIC～』以降はスケールがアップ◇

劇団の本公演以外に大手プロダクションと組み、寛利夫主演『西遊記～PSY U CHIC～』(99)、市川染五郎主演『阿修羅城の瞳』(00、03)、堤真一主演『野獣見参』(01)等、スケールの大きい舞台を製作。02年の『アテルイ』(市川染五郎主演、堤真一出演)で、作品賞として朝日舞台芸術賞・秋元松代賞を受賞。04年の『闘龍城の七人』では、同じ脚本をまったく別のキャストで演出を変えて連続上演するという試みを決行。ドラマ性の強い『アカドクロ』(古田新太主演)と、ケレン味の強い『アオドクロ』(市川染五郎主演)と見事に趣向を変えた作品はいずれも成功を収めた。そして同年『SHIROH』(中川晃教・上川隆也主演)では本格的なオリジナル・ロック・ミュージカルに挑戦、幅広い観客層の支持を受ける。これらの活躍に対し、いのうえは04年度の日本演劇協会賞を受賞した。

## ◇“いのうえ歌舞伎”は<第二章>へ、そして“NEXUS”“R”シリーズへの新たな試み◇

05年、初めて既存の小説を原作にした舞台『吉原御免状』(堤真一主演、松雪泰子出演)を上演。あくまで原作に忠実に舞台化し、笑いをほとんど排除した作品づくりで新境地を開拓する。“いのうえ歌舞伎”はこの作品以降、よりいっそう人間ドラマを重視する方向へと向かい、<第二章>ともいうべき段階へ。また同年、新感線☆NEXUSとして上演した『荒神～AraJinn』(森田剛主演)では小劇場時代をほうふつとさせる若手役者をフィーチャーした作品づくりをする。その後、“NEXUS”シリーズは『Cat in THE Red Boots』(06年・生田斗真主演)を上演。さらに06年には宮藤官九郎を脚色に迎えシェイクスピア作品に初挑戦、四大悲劇のひとつ『マクベス』をヘヴィメタルテイストに大胆にアレンジした新感線☆RS『メタル マクベス』(内野聖陽主演、松たか子、森山未來出演)を上演した。“R”シリーズとしては楽曲がROCKで、バンドが舞台上で演奏するものを指す。

## ◇～そして現在～◇

07年は『龐の森に棲む鬼』で市川染五郎とがっぷり組む“新感染”として新たな方向性を感じさせたと思えば、『犬顔家の一族の陰謀～金田真一耕助之介の事件です。ノート』では3年ぶりにギャグ重視の“ネタもの”を披露。昔どおりのバカバカしさと古くからのファンを安心させ、新たなファンには刺激を与えた。そして08年は、まず“いのうえ歌舞伎☆號”と銘打ちグリーン・青木豪に初めて脚本を依頼、森田剛主演で『IZO』を上演。人間を描くことに重きを置いた物語と映像を駆使した新鮮味のある演出で、舞台表現の可能性を広げたと高く評価される。また、新感線☆RXとして音楽と笑いを徹底して盛り込む『五右衛門ロック』を、北大路欣也を筆頭に豪華絢爛なキャストで上演。いかにも“新感線らしい”、派手なお祭り舞台として幅広い観客層から熱い支持を得、これもまたエポック的な作品となった。09年春は、“いのうえ歌舞伎・壊<Punk>”『蜂蟻峠』(主演:古田新太、堤真一)として一筋縄ではいかない人間ドラマを宮藤官九郎が書き下ろし。笑いと恐怖と涙に劇場が包まれた。そして秋は、座付作家・中島かずきの書き下ろす2年半ぶりの“いのうえ歌舞伎”『蛮幽鬼』(主演:上川隆也、堺雅人)として新橋演舞場で幕開け。中島独特の切り口で語られる復讐譚を、演出家・いのうえひでのりがスケールの大きなドラマに仕上げた。劇団結成30周年となる2010年は、『薔薇とサムライ～GoemonRock OverDrive』(主演:古田新太、天海祐希)を上演。映像を使ったダイナミックな演出と生バンドの演奏で音楽劇のこれからの新たな方向性を見出した。

# ツクルヒト

## 作・演出 いのうえひでのり 1960年1月24日生まれ 福岡県出身



80年劇団☆新感線を旗揚げ。以来、劇画・マンガ的な世界観にあたかもコンサート会場に来ているような派手な照明と音響を用いた構成で、演劇ファンのみならず音楽ファンをも虜にしてきた。役者の資質を見極め引き出す演出家としても注目され、劇団からは寛利夫、渡辺いつけい、羽野晶紀らを輩出。また、作・演出の作品として、笑いをふんだんに盛り込んだ“ネタもの”と呼ばれる「轟天」シリーズは、業界内部にもファンが多い。劇団の本公演以外では「怪談 牡丹燈籠」(09)、「TOMMY」(07)、初めて本格的にシェイクスピア作品に取り組んだ「リチャード三世」(08-09)、「荒神～AraJinn」(05)、「天保十二年のシェイクスピア」(02)プロデュース公演の演出も多数手がけている。

【受賞歴】 第14回日本演劇協会賞(『罫腰城の七人』『SHIROH』の演出において)  
第9回千田是也賞(『メタル マクベス』の演出において)  
第61回芸術選奨文部科学大臣新人賞

## ゲスト



### 田辺誠一(たなべ・せいいち) 1969年4月3日生まれ 東京都出身

第2回メンズノンノモデルに選ばれ87年専属モデルへ。92年ドラマ「熱い胸騒ぎ」(TBS)で俳優デビュー。以降、「三代目・明智小五郎」(TBS・10)、「853 刑事 加茂伸之介」(EX・10)、「風林火山」(NHK・07)、「ホテル리어」(ANB・07)、「肩ごしの恋人」(TBS・07)、「人間の証明」(CX・04)など数多くのドラマや、映画「DOG-FOOD」(99)、「ライフ・イズ・ジャーニー」(03)で脚本・監督・主演を務めるほか「ぐるりのこと」(09)、「少年メリケンサック」(09)、「ハッピーフライト」(08)、「明日の記憶」(06)、「半落ち」(04)、「約三十の嘘」(04)、「ハッシュ!」(02・報知映画賞、第24回ヨコハマ映画祭主演男優賞受賞)等、話題作に出演。97年にCD-ROM“DISC MAGAZINE SWIM”を発表するなど映像アーティストとしても活躍している。舞台は「信長」(06)、「七人の恋人」(05)、「新・近松心中物語」(04-05)、「グリークス」(00)など。劇団☆新感線には「荒神」(05)、「IZO」(08)以来3度目の出演となる。



### 坂井真紀(さかい・まき) 1970年5月17日生まれ 東京都出身

92年にドラマ「90日間トテナム・バブ」でデビュー。以降、ドラマ、映画、舞台に数多く出演。近年の主な出演作に、映画「実録・連合赤軍あさま山荘への道程」(08・第18回日本映画批評家大賞助演女優賞受賞)「ノン子 36歳(家事手伝い)」(08)「人間失格」(10)「スーパ・オペラ」(2010年秋公開)、TVドラマ「エジソンの母」(TBS・08)、「ウェルかめ」(NHK・09)、「八日目の蟬」(NHK・10)、舞台「立川ドライブ」(08)、「シャープさん フラットさん」(08)、「夜の来訪者」(09)、「ジェットの窓から手を振るわ」(2010年8月公演)などがある。劇団☆新感線には、「西遊記」(99)、「罫腰城の七人(アカドクロ)」(04)以来3作目の参加となる。



### 池田成志(いけだ・なるし) 1962年9月27日生まれ 福岡県出身

1982年「第三舞台」に参加し俳優活動を開始。以降、いい加減で食えない男など、オフビートなキャラクターを得意としながら、予断をもたず様々な舞台作家とジョイントしていく姿勢は一貫している。日本の現代演劇シーンに欠かせない俳優の一人である。主な出演作に舞台「博覧會～世界は二人のために～」(10・演出・出演)、「印獣」(09)、「奇ッ怪～小泉八雲から聞いた話」(09)、「七人は僕の恋人」(08)、TVドラマ「18番ホール」(WOWOW・10)、「福家警部補の挨拶～オッカムの剃刀」(NHK・09)、「借王」(WOWOW・09)、「33分探偵」(CX・08)、映画「猿ロック THE MOVIE」(10)、「ブタがいた教室」(08)など。劇団☆新感線には「宇宙防衛軍ヒデマロV = 完結編」(90)以降、「西遊記」(99)、「レッツゴー!忍法帖」(03)、「SHIROH」(04)、「犬顔家の一族の陰謀」(07)など多数出演している。

≪開催告知・取材に関するお問い合わせ≫

株式会社ディップス・プラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657  
斎藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)

# ゲキダンイン



**橋本じゅん(はしもと・じゅん)** 1964年2月25日生まれ 兵庫県出身

85年、大阪芸術大学在学中より劇団☆新感線に参加し、“なくてはならない存在”として多くの劇団公演に出演。代表作は“直撃!ドラゴンロック”シリーズ。激しいトレーニングをして臨む格闘家・剣轟天役は多くの人々を虜にし、宮藤官九郎演出のウーマンリブ公演「轟天 vs 港カナル」に劇団を超えて出演し話題に。劇団公演以外の主な出演作に「ピーターパン」(09・10.7月東京国際フォーラムホール C)、「ファニー・ガール」(10)、「冬の絵空」(09)、「私生活」(08)、「テイクフライト」(07)、「噂の男」(06)、「ロープ」(06)、映画「激情版 エリートヤンキー三郎」(09)、「隠し砦の三悪人」(08)、「木更津キャッツアイ ワールドシリーズ」(06)、TVドラマ「救命病棟 24時」(CX・09)、「ハチミツとクローバー」(CX・08)、「特急田中 3号」(TBS・07)、「エリートヤンキー三郎」(TX・07)など。また、舞台を降りれば海をこよなく愛する釣り人である。



**高田聖子(たかだ・しょうこ)** 1967年7月28日生まれ 奈良県出身

大学在学中にスカウトされ87年「阿修羅城の瞳」より劇団☆新感線に参加し、現在に至るまで看板女優として活躍。ほか、自身で座長を務めるプロデュース集団「月影十番勝負」・「月影番外地」の公演も定期的に行っており、新作「ジェット窓から手を振るわ」(10.8月ザ・スズナリ)が控えている。劇団公演以外の主な舞台作品に「スベリングビー」(09)、「舞台は夢」(08)、「キル」(07-08)、「回転する夜」(07)、「ベテン師と詐欺師」(06)など。舞台以外にもヒロインの姉役で強烈な存在感を見せお茶の間で人気を博したTVドラマ「やんちゃくれ」(NHK・98-99)や、「火の魚」(NHK・09)、「ホームレス中学生」(CX・08・09)、「芋たこなんきん」(NHK・06-07)、「時効警察」(EX・06)、など多数出演するほか映画などでも活躍している。



**栗根まこと(あわね・まこと)** 1964年8月7日生まれ 大阪府出身

85年「ヒデマロ 2」より劇団☆新感線に参加。マッドな博士から薄幸の美男子まで幅広く担当し、現在の劇団の中核を担う存在。リズムカルで軽妙な動きと独特な声を武器にコメディからミュージカルまでこなす芸達者ぶりは評価が高い。劇団公演以外にも、舞台「罪と、罪なき罪」(08・10.6月東京・大阪・神戸)、「斉藤幸子」(09)、「冬の絵空」(08-09)、「昭和島ウォーカー」(08)、映画「インスタント沼」(09)、「隠し砦の三悪人」(08)、「ローレライ」(05)、TVドラマ「猿ロック」(NTV・09)、「トンスラ」(NTV・08)、「功名が辻」(NHK・06)、「新選組!」(NHK・04)など様々な作品に出演。また、人物の観察力が鋭く、イラストも得意なことから雑誌のコラムなどでもその芸達者ぶりを発揮している。



**古田新太(ふるた・あらた)** 1965年12月3日生まれ 兵庫県出身

劇団☆新感線の看板役者。84年、大阪芸術大学在学中に劇団☆新感線「宇宙防衛軍ヒデマロ」に参加。エネルギッシュな迫力ある演技には定評がある。「ザ・キャラクター」(10.6月東京芸術劇場中ホール)やタイトルロールを務めた「葦原検校」(07)、「リチャード三世」(08-09)など外部の舞台へも積極的に参加している他、自身で企画・出演を務める「印獣」(09)、「49日後…」(08)、「鈍獣」(04)なども上演している。舞台以外に映画「シーサイドモーター」(2010年公開予定)、「20世紀少年 第二章/最終章」(09)、TVドラマ「ヤンキー君とメガネちゃん」(TBS・10)、「左目探偵 EYE」(NTV・10)、秋に発売予定の任天堂 DS ソフト「ニノ国」ではシズク役の声優を務めており、docomo の携帯番組 BeeTV「伝染るんです。」では「かわうそ」を演じて話題に。ほかバラエティ番組への出演や、コラムニストとしても活躍しており雑誌の連載や著書に「魏志痴人伝」「柳に風」がある。

◀開催告知・取材に関するお問い合わせ▶

株式会社ディップス・プラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657  
斎藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)

# コウエンガイヨウ

公演名 2010年劇団☆新感線 30周年興行秋

## 豊年漫作チャンピオンまつり「鋼鉄番長」

作・演出 いのうえひでのり

出演 橋本じゅん

坂井真紀 池田成志 高田聖子 栗根まこと

田辺誠一

古田新太

右近健一 逆木圭一郎 河野まさと 村木よし子 インディ高橋 山本カナコ

磯野慎吾 吉田メタル 中谷さとみ 保坂エマ

村木 仁 川原正嗣 前田 悟 武田浩二 藤家 剛

公式サイト <http://www.ko-tetsu.jp>

企画・製作 劇団☆新感線 ヴィレッツ

### 【STAFF】

美術 池田ともゆき

照明 飯泉 淳

振付 川崎悦子

殺陣指導 田尻茂一・川原正嗣・前田悟

アクション監督 川原正嗣

音楽 岡崎 司

音響 井上哲司

音効 末谷あずさ 大木裕介

衣裳 竹田団吾

ヘア&メイク 宮内宏明

小道具 高橋岳蔵

特殊効果 南義明

映像 上田大樹

大道具 俳優座劇場舞台美術部

歌唱指導 右近建一

演出助手 山崎総司

舞台監督 芳谷研

宣伝美術

イラスト

宣伝写真

宣伝ヘア

宣伝メイク

宣伝小道具

宣伝・公式サイト

票券・広報

制作デスク

制作助手

制作

エグゼクティブプロデューサー 細川展裕

企画製作

河野真一

洗智樹

相澤心也

宮内宏明

西岡達也

高橋岳蔵

ディップス・ブラネット

脇本好美

小池映子

辻未央 山岡まゆみ

柴原智子

細川展裕

ヴィレッツ 劇団☆新感線

＜開催告知・取材に関するお問い合わせ＞

株式会社ディップス・ブラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657

斎藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)

# コウエンガイヨウ

## 【東京公演】

日程 2010年10月4日(月)～11月7日(日)  
 チケット発売日 2010年7月31日(土)  
 会場 サンシャイン劇場  
 チケット料金 S席¥10,500 A席¥8,500(全席指定・税込)  
 スケジュール 【全40ステージ】

	10/4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月 祝	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木
12:30		休演		★		★	★		休演		★		★	★		休演	★	★
18:00	★	休演	★	★	★	★		★	休演	★	★	★	★		★	休演		★
	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日	11/1 月		2 火	3 水 祝	4 木	5 金	6 土	7 日
12:30		★	★		休演		★		★	★				休演		★		★
18:00	★	★		★	休演	★	★	★	★			★	休演	★	★	★	★	

プレイガイド チケットぴあ <http://pia.jp/t/ko-tetsu/>(パソコン・携帯)  
 [7/31のみ] 0570-02-9922  
 [8/1以降] 0570-02-9999 (Pコード:404-624)  
 イープラス <http://eplus.jp/ko-tetsu/>(パソコン・携帯)  
 ローソンチケット <http://l-tike.com/ko-tetsu/>(パソコン・携帯)  
 [7/31のみ] 0570-084-635  
 [8/1以降] 0570-084-003 (Lコード:33366) / 0570-000-407  
 CNプレイガイド <http://www.cnplayguide.com/ko-tetsu/>(パソコン・携帯)  
 [7/31のみ] 0570-08-9911  
 [8/1以降] 0570-08-9999  
 チケットホン松竹 0570-000-489(ナビダイヤル 10:00～18:00)  
 03-6745-0333(東京 10:00～18:00)  
 サンシャイン劇場窓口 10:30～18:00 ※7/31のみ 10:00～18:00

主催 ヴィレッツチ  
 制作協力 サンライズプロモーション東京  
 お問い合わせ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(全日 10:00～19:00)

＜開催告知・取材に関するお問い合わせ＞

株式会社ディップス・プラネット tel:03-5283-0656 fax:03-5283-0657  
 斉藤沙知子(saito@dipps.co.jp)・大山雅子(masako@dipps.co.jp)



**【大阪公演】**

日程 2010年11月16日(火)～12月5日(日)  
 チケット発売日 2010年9月20日(月祝)  
 会場 イオン化粧品 シアターBRAVA!  
 チケット料金 S席¥10,500 A席¥8,500(全席指定・税込)  
 スケジュール 【全24ステージ】

	11/16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火 祝	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	12/ 1 水	2 木	3 金	4 土	5 日
12:30			★		★	★	休 演	★	★	★		★	★	休 演	★	★	★		★	★
18:00	★	★	★	★	★		休 演	★			★	★		休 演		★		★	★	

プレイガイド チケットぴあ <http://t.pia.co.jp/kyodo-osaka/>(パソコン・携帯)  
 [9/20のみ] 0570-02-9550  
 [9/21以降] 0570-02-9999 (Pコード:405-892)  
 イープラス <http://eplus.jp/>(パソコン・携帯)  
 ローソンチケット <http://l-tike.com/>(パソコン・携帯)  
 [9/20のみ] 0570-08-4658  
 [9/21以降] 0570-08-4005 (Lコード:59440)  
 0570-00-0407(オペレーター対応)  
 CNプレイガイド <http://cncn.jp/k-o/>(パソコン・携帯)  
 [9/20のみ] 0570-03-9922  
 [9/21以降] 0570-08-9999  
 阪神プレイガイド (窓口販売のみ)

主催 関西テレビ放送  
 後援 FM802  
 制作協力 サンライズプロモーション大阪  
 お問い合わせ キョードーインフォメーション 06-7732-8888(全日 10:00～19:00)

**【福岡公演】**

日程 2010年12月13日(月)～17日(金)  
 チケット発売日 2010年9月26日(日)  
 会場 嘉穂劇場  
 チケット料金 S席¥10,000 A席¥8,000(全席指定・税込)  
 スケジュール 【全5ステージ】

	12/13 月	14 火	15 水	16 木	17 金
15:00	★	★	★	★	★

プレイガイド チケットぴあ <http://t.pia.co.jp/>(パソコン・携帯)  
 [9/26・10:00～23:30のみ] 0570-02-9903  
 [9/26・23:30以降] 0570-02-9999 (Pコード:405-025)  
 イープラス <http://eplus.jp/>(パソコン・携帯)  
 ローソンチケット <http://l-tike.com/ko-tetsu/>(パソコン・携帯)  
 [9/26・10:00～18:00のみ] 0570-08-4681  
 [9/26・18:00以降] 0570-084-008 (Lコード:81777)  
 0570-000-407(オペレーター対応)

主催 ヴィレッヂ  
 制作協力 キョードー西日本  
 お問い合わせ キョードー西日本 092-714-0159(平日 10:00～19:00 / 土曜 10:00～17:00)